

整備が完了した名鉄西尾線踏切（新田町）



新たに開始した高齢者の移動支援サービス




アジア競技大会では、安城市は女子ソフトボールと近代五種の会場になりました





来年も子ども達がいきいきと元気に
過ごせるようなまちづくりを進めます



## 三星元人市長の 今月の星3つ THIS MONTH'S

# 他市からも注目を集めた 2026年の安城。 来年も元気で豊かなまちに

この原稿の執筆時点（11月上旬）から皆様が本号を手に取る頃までには、世情が大きく変化しているかも知れません。と、はじめにおことわりをして本題に入ります。

今年もエネルギー危機に起因する物価高騰が続きました。世界情勢によって日常生活が振り回される、まさにグローバルな社会に私達は生きています。また、サイバー攻撃による身近な企業の情報漏洩問題、開発者の意図しないAIの暴走等、デジタル社会への不安が高まった１年でもありました。

そして各地で地震や豪雨による甚大な被害が発生し、本市においても震度４を観測した地震が起こりました。幸いにも大きな被害は発生しませんでしたが、皆様におかれましては、南海トラフ地震に対し、より一層の備えをお願いしたいと思います。

さて、今年は、冬季オリンピック、サッカー・ワールドカップ、そしてアジア・アジアパラ競技大会と、スポーツの祭典満載の年でしたね。特に、地元愛知で開催されたアジア競技大会では、安城市で近代五種とソフトボールが行われ、大いに盛り上がりました。日本人選手・日本代表チームが躍動する姿に勇気づけられた方も多いのではないでしょうか。

安城市内に目を向けますと、アジア競技大会会場となった安城市総合運動公園周辺で、豊田安城線バイパスが開通し、名鉄西尾線踏切も整備される等、交通の円滑化が図られました。JR安城駅南西広場も完成し、新たな交流の場がまた一つ増えました。子育て施策では、子どもの居場所づくり「中高生ヨリミチBASE」や、不妊治療費助成の対象拡大等を新たに始めています。高齢者の足として、移動支援のための自動車貸し出しも発車しました。

来年は市制施行75周年、デンパーク開園30周年、アンフォーレ開館10周年を迎えます。ここ２・３年で安城市は、他市から注目される存在になってきた、という実感があります。こども達の元気な声があちこちから聞こえ、あらゆる世代がいきいきと暮らす、元気で豊かなまちを、ともに築いていきましょう。

残すところあとひと月、令和８年が良い年だったと思っていただけますように、そして来年も素晴らしい年になりますように。